

第19回伊賀市歴史的風致維持向上協議会 会議録

1. 日 時 令和6年5月30日(木) 午前9時30分～午前11時10分

2. 場 所 市庁舎2階202・203会議室

3. 出席者 【委員】

菅原会長、浅野副会長、松生委員、山下委員、牧野委員、滝井委員
須崎委員代理、堀川委員、岩野委員、川部委員

【オブザーバー】

高橋中部地方整備局建政部計画管理課長代理

杉山中部地方整備局建政部計画管理課計画・景観係長

【事務局】

東伊賀市教育委員会事務局次長、森口中心市街地推進課長、松尾都
市計画課長、笠井文化財課長、福島文化財課主幹

4. 議 事

事務局：要綱第6条により出席委員が10人であり会議が成立していることを報告します。続いて令和6年4月1日付けで委員委嘱をさせていただきましたが、要綱第5条に「協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める」とありますのでいかが取り計らいましょうか。

委 員：事務局案はありますか。

事務局：会長に菅原委員、副会長に浅野委員をお願いしたいと考えています。いかがでしょうか。

《異議なし》

事務局：ありがとうございます。要綱第6条第1項により菅原会長に以降の議事進行をお願いします。

1. 開会挨拶

会 長：伊賀の歴史的風致、伊賀の宝物と言っていますがそれに関わりまちづくりを進めていく大切な計画であると思います。それについて方向づけをしていきたいと思いますが、限られた回数です。この機会にお気づきの点を指摘いただき、今後の計画に反映していきたいと思います。それでは事項書2の報告事項から進めます。報告事項(1)令和5年度の事務局経過について報告をお願いします。

2. 報告事項

(1) 令和5年度事務局経過について

事務局：資料1をご覧ください。前回協議会以降の経過ですが、1月30日、31日には名古屋市において開催された第9回中部歴史まちづくりサミッ

トに参加し、前回協議会で見ていただきました令和5年度計画変更について3月1日に提出し、29日に認定を受けました。資料2をご覧ください。計画変更の認定を受けましたので計画の概要版ですが新たな5事業を追記しました。

会 長：事務局からの報告についてご意見ございませんか。

委 員：重点地区の一つ阿保地区は、事業の進捗が課題となっていました。昨年度は看板の製作やパンフレットの作成に取り組んでいただきました。ありがとうございます。

3. 協議事項

(1) 令和5年度事業進捗（進捗評価シート）について

会 長：続いて協議事項に進みます。(1) 令和5年度事業進捗（進捗評価シート）について事務局から説明をお願いします。

事務局：資料3をご覧ください。認定事業の一覧ですが右端の実績について令和6年度の事業内容と経費となっています。続いて資料4をご覧ください。令和5年度進捗評価シートですが、令和5年度3月末時点の内容と数字に更新しています。1ページから4ページは伊賀市歴史的風致維持向上協議会や伊賀市歴史的風致維持向上計画推進庁内検討会議の開催、令和5年度の事務局が出席、参加した会議や行事、令和5年度の庁内組織、都市計画関連ではうえのまち風景づくり協議会や総会について記載しています。6ページから33ページは令和5年度の実施事業についてその内容と写真を掲載しています。34ページから38ページは文化財の保存・活用の項目で市指定文化財を1件指定し、消防署単位の防災訓練の実施、文化財講演会や展示、文化財ウォークの開催、埋蔵文化財保護の調査を行ないました。39ページから42ページは報道や歴史まちづくりにかかる効果について、報道や伊賀市チャンネルに多く記載が見られ、文化財施設等の入館者数やイベント参加者数に回復傾向が見られました。以上の内容で令和5年度の進捗評価シートを提出したいのですがいかがでしょうか。

会 長：委員の皆さんからのご意見はございませんか。

委 員：事業が遅れておりましたが限られた期間で看板を立てていただいた。また、パンフレットも作成いただいた。引き続き看板の設置をお願いしたい。

事務局：地域と協議をさせていただきます。

会 長：資料4の22ページ。古民家等再生活用事業は非常に意欲のある事業者が実施し、ホテル事業を広げていくことはよいと思います。他の所有者

や事業者でいろいろな古民家を活用した取り組みが出てこなくてはいけないと思っています。古民家等再生活活用事業による「ニッポニアホテル伊賀上野城下町」の事業については成功例であることは分かりますが、他の活用例もあってよいと思います。

委員：上野城下町区域以外では飲食で古民家を利用する例があります。ただ、この計画に位置づくかどうかは検討が必要かと思う。

事務局：農村部においても古民家利用について、現状把握に努めます。

委員：上野城下町区域では忍者の仕掛けのある屋敷で飲食や宿泊できるような、ゲストハウスとして活用している例も聞いている。

委員：古民家等の利用は、情報をウェブに上げ周知を図る取り組みもある。

会長：去年の秋、伊賀のまちについて話す機会があり、まちなかの空き家が随分と多い、活用されていないとの話がありました。活用例はビジターの方、観光客の方が伊賀に来て伊賀のよいところを見ていただくことですが、住んでいる方々が活用し、伊賀が良いまちだと思える活用が必要だと思います。できれば市内の方が事業者となって行う活用が増えてほしいと考えています。

他にご意見はいかかですか。各事業進捗しているが、こうすればよくなるとのご指摘もお願いします。

資料4の31ページから33ページの看板設置事業については着実に進んできているように思いますが、課題としては多言語化がある。限られた盤面で複数の言語で説明することは難しいと考えるが、二次元コードを使用し、看板そのものを使ってもできると思います。

事務局：二次元コードにより多くの情報を盛り込めると思います。

委員：楼車蔵の前に看板がありますが、二次元コードで上野天神祭の画像を見ることができるようになっていたと思います。

委員：動画も見ることができます。その内容や時間、情報量をどの程度とすればよいか検討しました。できるだけ電気の消費は少ない方がよいと思いました。二次元コードは後付けでもあり、劣化も見られますが、発信はSNSの時代と思っています。

会長：多言語化と言いましたが民俗文化財、特におまつりは動画を見ることができるのは良いことと思います。観菩提寺の事業が入っていますがいかがでしょうか。

委員：多聞天立像の修理をしていただいているのはありがたいです。以前から傷みが気になっていたのが修理されていると聞いて嬉しい。また、先日説明会があり、解体修理で分かったことなどを知ることができました。今後は地域でも広報し周知したい。修理実施の周知も必要と思います。

- 会 長：修理の説明は必要だと思います。何かやっていますか。
- 事務局：現場で事業内容が伝わるようにしたいと思います。観菩提寺の防災設備の整備事業を実施した際に資料を作成した経緯もあり、仏像の修理経過がわかるようなものを作成したいと考えます。
- 委 員：他にご意見いかがでしょうか。
- 委 員：福居町の幕の修理・修繕を事業として挙げていますが、新しいものを使用しますが引退した幕をどうするかです。昔の技術でこれを作ろうとしても専門家でも作れないと聞きます。収納した状態ではあるが、活用についても考えないといけないと思います。
- 会 長：ありがとうございます。今後の課題と言えますね。
- 事務局：引退幕についてはまちづくりの観点というか、文化財保護の観点で検討させていただきたいと考えます。
- 会 長：資料4の40ページの効果・影響等に関する報道について、近年、伊賀に関しても動画共有サービスに本当に多く掲載されています。それらを検索してみてもよいかと思います。
- 委 員：伊賀市では情報発信については部署を越えて取り組んでいます。産業振興部の営業本部ではPRタイムスという会社のクリッピングサービスを利用し、インターネットに上がった記事を検索ワードで抽出できるようになっています。
- 会 長：市の取組がいい効果を生み出していると思います。このことも書き込んでいただけたらと考えます。
- 事務局：そのように致します。
- 副会長：資料4の36ページの課題と対応方針の記述で新型コロナウイルス感染拡大防止のため、訓練等が中止となっていますが、令和5年度から復活してきているのでコロナ禍前に戻りつつあること記述してはどうかと思います。令和5年度の防災訓練については上野西町で行われているようですがどのような内容ですか。
- 委 員：消防署が主催し、寺社などで防災訓練を行なってきましたが、一度、楼車と楼車蔵で訓練ができないかとの相談を受けました。街中の狭い場所は困難と思われたので通りに面した上野西町さんであれば可能であろうということになりました。関係者や周辺の住民も参加し、課題も見えましたし、防災意識も高まりました。
- 委 員：実際に放水することはできませんが、密集地で運び出すことも困難が伴うものと想像されます。
- 委 員：大きな火事となれば木造建物多くその被害は大きくなる可能性があります。課題も踏まえ、防災意識をさらに高めていくことの意味は大きい

と思います。

副会長：ありがとうございました。

会 長：資料5がありますが説明はありますか。

事務局：資料5をご覧ください。現計画の課題や方向性、事業等を一覧としたものです。前回の協議会においても提示をさせていただきましたが、再度、計画や事業等を精査させていただきました。今後、このシートにより洗い出しの作業を行なっていきたいと考えています。

会 長：ご意見いかがですか。課題整理は必要な作業と思いますが、この中で外堀の復元というのはどのようなことでしょうか。

事務局：城内と城下町のあり方が明確でなくなっている中、1つの方法と考えており、事務局として挙げさせていただいておりますが、さまざまな課題もあると考えています。

会 長：このことについては、いろいろな可能性や問題点を検討していくという意味ですね。

事務局：そのとおりです。

会 長：その他ご意見いかがでしょうか。

副会長：年度ごとに評価しているのでは問題はないとは思いますが事務局として何か課題はありますか。

事務局：最終評価を行う際に当初から指標的なものを設定していなかったところがあります。指標などについて今後、どのように考えていったらよいか、ご指導いただければと思います。

副会長：計画の当初には数値的なものを挙げてないですね。

事務局：挙げていません。

副会長：計画の指標について扱いはいかかですか。

地 整：指標を定めることを求めているものではないと思います。

副会長：指標の必要性については事例によって付した方がよい場合もあります。個々の事業についても数字で表せるもの、また数字で表しにくいものもあり、書き方を柔軟にさせていただけたらと思います。

事務局：個々の事業において数字で表せるものは表し、そうでないものについては状況を記述するなど工夫します。

会 長：他の委員の皆さんからご意見をいただきます。

委 員：伊賀には多くの宝物があり、修理し保存していくことは大切です。合わせて日常が活気あるまちになっていただきたいと思います。計画の中には空き家の活用について事業を挙げさせていただいているので取組を進めていただきたいと思います。

地 整：評価についての指標は義務付けていませんが目標を達成、未達成などい

ろいろな判断ができると思いますのでご相談いただければと思います。

委員：伊賀市にぎわい忍者回廊整備(忍者体験施設等整備)に関する PFI 事業を進めるあたり一緒に取り組みたいと考えます。

会長：事務局から資料3から資料5について提案いただき、ご意見をいただきました。修正が必要となっておりますが、本会議においては修正を前提に了解いただけますでしょうか。

《異議なし》

(2) 令和6年度予定について

会長：それでは(2) 令和6年度予定について説明をお願いします。

事務局：資料6をご覧ください。令和6年6月中には令和5年度進捗評価シートの提出、10月3日、4日には伊賀市において第10回中部歴史まちづくりサミットを開催させていただきます。11月には伊賀市歴史的風致維持向上計画推進庁内検討会議を開き、1月には第20回伊賀市歴史的風致維持向上協議会の開催を予定しています。また資料7をご覧ください。令和7年度は19の事業を予定しています。

会長：何かご意見ございませんか。

《委員からの意見は特になし》

4. その他

会長：無いようですので事項書の4、その他ですが事務局からお願いします。

事務局：10月3日、4日に歴まちサミットの実施について説明し、会長に基調講演、副会長にコーディネーターをお願いさせていただきました。また、進捗評価シートを提出するため、本日いただきました意見を整理して会長にご確認いただき提出させていただきたいのですがいかがでしょうか。

会長：令和5年度の進捗評価シートについて確認し手続きを進めてよろしか。

《異議なし》

会長：それではそのように進めます。これで議事はすべて終わりました。進行を事務局にお返しします。

5. 閉会挨拶

事務局：本日は長時間にわたり、ご審議賜りありがとうございました。

(会議終了 午前11時10分)